

令和5年7月20日

全検協 ニチガス「夢の絆」工場見学及び暑気払いを実施

全検協では7月20日(木)にニチガス「夢の絆」の工場見学を実施しました。当日は理事・技術委員・青年部会員・報道各社も含め総勢28名が参加しました。

冒頭、白砂会長が挨拶され工場見学に謝辞を述べられました。その後にニチガスの代表取締役専務執行役員の吉田恵一様が「夢の絆」の構造、内容及びハブ充填基地としての機能を詳細に説明いただき、また容器検査工場についても細部にわたって説明されました。

「夢の絆」は、一般的なLPガス充填所と比べて敷地面積が10～15倍、充填能力が100倍。月間の充填能力は約200万世帯分にあたる5万トン、容器の検査能力は4万本となっています。DXの取り組みでは高性能カメラによって容器の情報を自動認証でデータ化しており、これらのデータと消費者宅に設置された自動検針ツールから送られてくるガス消費データ、物流拠点(デポ)の容器在庫データをシステム連携し、最適な充填計画を算出する。容器検査所も人による作業を極小化して、自動化を進めており検査能力を高めています。



(「夢の絆」工場見学 集合写真)

暑気払い(屋形船遊覧)を実施

ニチガス「夢の絆」工場見学の終了後、引き続き品川にバスで移動し屋形船による暑気払いを行いました。

屋形船は品川「船清」。総勢 20 名の参加で行いました。最初に白砂会長がご挨拶をされ、その中で今回容器バルブメーカーが公取委の立ち入り検査を受けた関係で残念ながら欠席されておりますと報告されました。

乾杯のご発声は小新副会長が行い会員・賛助会員相互の懇親を図り、和気あいあいの中スタートしました。またリコーデジタルペインティング(株)竹村氏と MSK 保険センター窪田氏が初めて参加されました。お台場海浜公園とレインボーブリッジ、隅田川とスカイツリーの夕暮れ時を楽しみながら東京湾遊覧を楽しみました。



(お台場海浜公園 船上での集合写真)

